【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公開番号】特開2008-49313(P2008-49313A)
【公開日】平成20年3月6日(2008.3.6)
【年通号数】公開・登録公報2008-009
【出願番号】特願2006-230482(P2006-230482)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｄ　39/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｄ　39/00　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成21年8月26日(2009.8.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基台に、ダスト捕捉用の粘着剤を有するシート状のネットと前記ネットの片面に貼着された剥離紙をロール状に巻いて形成されたネットロールと、前記ネットロールを収納する収納部と、前記ネットを張架するローラーと、前記ローラーに張架された前記ネットを巻き取る巻取り手段とを備え、前記巻取り手段の動作に連動して、前記剥離紙を前記ネットより剥離し、同一の前記巻取り手段で、ネットと剥離紙の両方を巻き取るようにしたことを特徴とするダスト等捕捉装置。
【請求項２】
ネットに付着させる液剤を収納する液剤ケースを設けた請求項１に記載のダスト等捕捉装置。
【請求項３】
巻取り手段の動作に連動して、液剤をネットに付着させるようにした請求項２に記載のダスト等捕捉装置。
【請求項４】
基台に、シート状のネットをロール状に巻いた状態で収納する収納部と、前記ネットを張架するローラーと、前記ローラーに張架された前記ネットを巻き取る巻取り手段と、ダスト捕捉用の粘着剤を収納する粘着剤ケースとを備え、前記巻取り手段の動作に連動して、前記粘着剤を前記ネットに付着させるようにしたダスト等捕捉装置。
【請求項５】
ネットを張架するローラー間のピッチを調節可能にした請求項１～４のいずれか1項に記載のダスト等捕捉装置。
【請求項６】
基台の底面に走行車輪を設けた請求項１～５のいずれか1項に記載のダスト等捕捉装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１５】
第１の発明は、基台に、ダスト捕捉用の粘着剤を有するシート状のネットと前記ネットの片面に貼着された剥離紙をロール状に巻いて形成されたネットロールと、前記ネットロールを収納する収納部と、前記ネットを張架するローラーと、前記ローラーに張架された前記ネットを巻き取る巻取り手段とを備え、前記巻取り手段の動作に連動して、前記剥離紙を前記ネットより剥離し、同一の前記巻取り手段で、ネットと剥離紙の両方を巻き取るようにしたことを特徴とするもので、ネットを交換するときは、巻取り手段で使用済みのネットを巻き取るだけで、粘着剤を有するネットの新しい部分を外部に露出させることができるので、煩雑なネットの運搬作業や付け替え作業が不要になり、使用勝手がよい。また、構成が簡素で、軽量化がはかれるので油圧シリンダーや、クレーンガーターなどの設備が不要になり、設備投資コストを大幅に低減できる。また、巻き取り作業やその準備作業も容易になる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
第３の発明は、特に、第２の発明において、巻取り手段の動作に連動して、液剤をネットに付着させるようにしたことを特徴としている。したがって、煩雑なネットの運搬作業や付け替え作業が不要になり、使用勝手がよい。